

同時発表：日本水大賞委員会

令和 7 年 3 月 13 日
水管理・国土保全局河川計画課

第 27 回日本水大賞の各賞を決定 ～水循環の健全化に貢献する様々な活動から特に優れたものを表彰～

日本水大賞委員会（名誉総裁：秋篠宮皇嗣殿下）は、第 27 回日本水大賞の応募総数 75 件の中から「大賞」の受賞者を群馬県立吾妻中央高等学校（群馬県）に、「国土交通大臣賞」の受賞者を宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校（宮崎県）に決定しました。

【日本水大賞】

活動主体：

群馬県立吾妻中央高等学校
環境工学研究部（群馬県）

活動名称：

地域の農業を守りたい ～老朽化した農業用水路の保全に向けた高校生の取組～



水路の測量（RTK）



ドローンによる写真測量



地域と連携し水路補修



土地改良区へ写真地図納品

活動内容：学校近隣の「美野原土地改良区」が管理する約 206ha の水田地帯に農業用水路が張り巡らされているが、老朽化による破損箇所が多く、農業活動に支障が出ていた。同改良区からの依頼で水路管理データの作成に着手し、測量会社・東京農業大学などの協力を得ながら、現地測量やドローンを用いた写真測量を行い、総延長約 34km の水路図を完成させた。並行して水路の機能診断を行い、簡易補修も施した。

【国土交通大臣賞】

活動主体：

宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校（宮崎県）

活動名称：

「文理融合」「デジタル×リアル」で探究する宮崎の水防災・水環境



行政関係者とのワークショップ



「山腹用水路」の現地調査



日向灘地震翌日の聞き取り調査



市民向けシンポジウムで報告

活動内容：地震・防災の専門家と共同して、GIS を活用して県内の津波リスクの分析、避難先の行政と住民の認識確認、実践的避難訓練を行った。令和 6 年 8 月の日向灘を震源とする地震による津波注意報が発せられた際には、自ら避難訓練どおりに避難することで避難者としての新たな課題を確認し、地域住民への聞き取り調査を実施した。約 2 ヶ月後には防災シンポジウムに生徒が登壇し、調査結果を報告した。

【日本水大賞とは】

日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる 21 世紀の日本と地球を目指し、水循環の健全化に貢献するさまざまな活動を対象に、社会的貢献度が高い、水防災、水資源、水環境等の分野における活動の中から、特に優れたものを表彰し、広く国民に発信することを目的として平成 10 年に創設されました。

【問合せ先】水管理・国土保全局河川計画課

課長補佐 市川^{いちかわ}、課長補佐 渡邊^{わたなべ}、河川情報係長 河内^{こうち}
代表：03-5253-8111（内線：35322、35375、35395） 直通 03-5253-8446